

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成24年9月10日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4673100113
法人名	医療法人 木村外科内科
事業所名	グループホーム きむら(すみれユニット)
所在地	鹿児島県鹿児島市石谷町2105番地3 (電話) 099-278-0058
自己評価作成日	平成24年9月10日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46
-------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま 福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成24年9月26日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

- 高台にホームが位置しており、景観がよく、四季を感じながらに入居者様と職員が和気あいあいと生活を送っている。
- 母体の医療機関と隣接してたてられたホームであり、24時間、緊急時対応でき入居者様やご家族に安心で頂けるよう努めている。
- 関係機関、民生委員、ボランティアの方々の協力を頂き、地域との交流ができている。
- 地域に根ざした施設を目指している。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価
			実施状況	実施状況 次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営				
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	「お一人おひとりの思いを大切にする」ことをはじめとするを基本理念に掲げ、入職時には理念を理解していただけるようオリエンテーションの中に入れ込んでいる。玄関・和室・トイレ等に掲示して目に入ることで意識付けしている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会に入会し、回覧板が回ってくる。バーベキュー大会・野菜ボランティア・敬老会参加等を通じて、地域の方々と交流を図っている	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	人材育成のため、実習性の受け入れを積極的に行っている。（中学生職場体験学習の受け入れ等）	
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1度の実施をしており、ご家族や公的機関の方に出席して頂き、意見や要望をいただきたり、各分野からの講話をいただいている。出席できなかったご家族にもホームページにて会議の内容を掲載し報告をしている。また、玄関前へ、会議録を掲載し周知できるようにしている。職員にも全体会議にて報告を行い情報を共有している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	市支所に毎月ホーム便りを届けており、地域包括センター職員が日常的に立ち寄りホーム運営について相談できる関係を築いている。また、市の介護相談員を毎年、受け入れ、連携してサービス向上に取り組んでいる。		
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束排除宣言を掲げ、勉強会を開催し意識を高めている。（リビング 職員トイレにも掲示している。）日中、玄関、非常口には施錠を行っていない。お一人安全面から身体拘束を行っている方がいるが毎月検討して見直しを行うなど手順に沿って対応している。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	ホーム内で法律を含めた勉強会を行い高齢者虐待防止について意識を高め、防止に努めている。又、職員のストレス解消のため、管理者面談を行っている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	ホーム内で勉強会を行っている。成年後見人制度を利用している利用者がおり。必要時には対応していく。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9	○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約時には、重要事項説明書及び運営規定を充分に説明し、質問事項に対しても、丁寧に対応している。解約時にも充分な話し合いを持ち、ご理解していただけるようにしている。			
10 6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	面会時、ご家族と話す機会を持っているほか、面会簿に要望等を記入する欄を設けて、ご家族が意見、要望を表しやすいように工夫している。出された意見等は、早急に検討して改善策を実施して報告している。玄関に第3者員の名簿を掲載している。			
11 7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	月1回の全体会議の中で、職員1人ひとりから業務内容やケアの方法など発表の場を設け情報共有や改善またサービスの質の向上繋げ職員の意見の反映に努めている。報告書・会議録・申し送りノート等情報の共有するために全員に確認印を押している。			
12	○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働くよう職場環境・条件の整備に努めている。	介護職の研修案内を表示し、研修受講を遂行している。全体会議の中で、計画的に、勉強会を行っている。行事には必要な人員の補充を行っている。			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13	○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	入職時には、オリエンテーションの記録報告書記入し、提出する流れを確立させている。月1回 勉強会を実施している。			
14	○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	G H協議会・地区の勉強会に参加し、情報交換・勉強会の場になっている。現場に持ち帰り、全体会議の中で勉強会をしサービスの質の向上に努めている。			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	初期相談から、ご本人・ご家族の面談の機会を大切にし、その方の心身状態をいち早く察知し、より多くの情報収集を行い、理解できるように努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	事前の見学対応や面談を通じて、相談内容や背景をいち早く把握し、理解できるように努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	早急な対応が必要な利用者には、柔軟な対応を行っている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	人生の大先輩であることを念頭に、行事の飾りつけ（正月・月見等）や季節の料理（梅干・ラッキョウ・高菜の漬物・五汁等）や野菜作りの知恵等を多く教わり日常生活に活かしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会時やお手紙で、利用者の近況報告し外出、外泊の支援を頂き協力して支援している。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	地域の方のボランティアや理容・美容の活用をしている。近隣の馴染みの方、友人、民生員の面会時、居心地のいい雰囲気作りに努めている		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	テーブルの配置換えやトラブルが発生した時には、すぐに中に入り、関係調整を図ったり、お手伝いをお願いして気分転換を図り楽しく過ごせるように努めている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退去後もご本人の様子を伺うお手紙を同封したり、担当ケアマネさんへ情報提供や連携の強化を図っている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。</p>	日常生活の中で、常に声掛けを行い話を聞き、その方の言動、様子、表情観察からご本人の思いを汲み取り得た情報を職員間で共有し、その方の思いに近づけるように努めている。		
24		<p>○これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	ご本人、ご家族からの聞き取りを十分に行い、関係機関との連携を図るなど、多くの情報を得て利用者理解に努めている。		
25		<p>○暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている</p>	利用者の習慣・特技・身体状況を把握し、職員と共に出来る範囲の家事活動・作業を楽しみながら取り組めるように工夫している。		
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	本人及びご家族、職員で担当者会議を行い、出された意見を反映して介護計画を作成している。定期的なモニタリングおよび状態変化時の見直しを行っている。全体会議でも、利用者のケアについて職員同士で意見をだし介護計画に反映している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	日々、利用者の状態変化などを記録し、記録を元に評価を行っている。		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々に生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	利用者やご家族の状況に応じて随時対応し柔軟な対応、協力体制に取り組んでいる。		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>ハレの日やソシル活動等を通じて地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	地域ボランティアと交流をもち、話し相手や歌を披露してくださったりまた、野菜ボランティアの方と一緒にしている。		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	受診や通院は、利用者・ご家族との希望に応じ、代弁支援を行っている。協力医療機関の医師や看護師の訪問、協力歯科医院の往診 医療機関と連携をとりながら適切な医療が受けられるように支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	ホームの看護師・医療連携看護師に状況報告をし、対応の仕方や指導を受けながら利用者に対応している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時の状況把握のために、病院訪問を行い、情報交換に努め、病院から直接ホームに帰居できるように取り組んでいる。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化、終末期の対応方針があり、ご本人・ご家族への説明にて同意を得て終末期ケアに沿って対応している。医療機関が同敷地内にあることがあり、重度化終末期には、入院になることがある。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	ホームにはAEDが設置しており年一回、専門業者による講習があり、全職員が対応できる。急変や事故発生に備えた研修を行っている。毎日、日勤リーダーが点検し緊急時に供えいつでも使用できる状態にしてある。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年二回、消防署の協力を得て避難訓練（昼・夜）・避難経路の確認・消火器の使い方の訓練を行っている。地域の方の助言により各ユニット内に拡声器の設置を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容

IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

36	14	<input type="checkbox"/> 一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	入職時のオリエンテーションにて個人情報の研修 誓約書捺印をもらっている。 注意を促す際には、尊厳をもって対応している。		
37		<input type="checkbox"/> 利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	自己決定がしやすいように質問形式出、声のトーンに気をつけ、やさしい言葉かけで自己決定を促している。		
38		<input type="checkbox"/> 日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	お一人、おひとりの日常生活のペースに合わせて声掛けや、ご本人の様子で、希望・要望を汲み取り個別に対応している。		
39		<input type="checkbox"/> 身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	散髪（出帳）にて利用者・ご家族の希望にて定期的に行っている。衣類は自宅で使用していた物やご家族が提供にてご本人と話し合いながら決めている。		
40	15	<input type="checkbox"/> 食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者の嗜好調査し希望があればメニューの変更をしたり利用者様の状態に合わせて食事形態を変えている。食事の準備や後片付けを身体機能に応じて自分のペースで行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎回食事摂取量の把握と記録を実施している。病的疾患による食事内容、カロリーを把握し提供できている。管理栄養士へ相談体重測定を定期的に行い状態把握に努めている。水分補強は、定期的、入浴後、いつでも補給出来るように対応できている。			
42	○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	起床時、毎食後の口腔ケアの実施、介助見守りにて対応している。就寝前には、義歯消毒を毎日実施。歯ブラシ、コップも消毒している。口腔内異常時には、歯科往診にて対応している。			
43 16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	日中、夜間排泄記録にて排泄パターン、サインが把握でき、排泄誘導、介助、後始末の支援をしている。トイレでの排泄が困難な利用者でも職員の介助にて安全にトイレにて排泄できるように支援をしている。			
44	○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	内服にてコントロール・水分補給・運動・食事の工夫し便秘予防に努めている。便秘傾向が続く方には主治医、医療連携看護師の適切な対応を行っている。			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴は基本午前中に取り組んでいるが、希望に応じて対応に努めている。健康状態に考慮しながら、清拭、足浴など場合に応じた対応を行っている。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日課に沿って生活が営まれているが、体調にあわせ、自室で休まれたり自由に過ごしていただいている。夜間の就寝時間は決めておらずお茶を飲まれたり好きなテレビ番組を鑑賞したり、談話されたりと自分のペースに任せている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	各個人の内服薬が確認できるようにファイルを作成している。服薬は、3回確認ルールを作り一人づつ服薬支援している。内服が変更されると申し送り簿、生活記録に記録しサインをし職員が薬の変更が把握できるように努めている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	その方の個性・性格・今までの経験・身体機能をふまえその方の得意なことをお手伝いいただき職員と共に楽しく行えるように工夫をしている。お手伝いを頂いたときには感謝の気持ちを必ず伝えている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外にかけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	花見、地域行事への参加等にて外出の機会をつくり利用者の気分転換を図ったり敷地内の散歩や野外でのラジオ体操、畑の草取りなど、日頃からなるべく多く野外で過ごす機会をつくっている。また、ご家族との外出、外泊支援も行っている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	トラブル防止の為、ご本人がお金の所持している方はいないが必要時、ご本人希望時には預かり金にてご家族の同意を得てから購入している。			
51	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	利用者の要求があればいつでも自由に電話をかけられるように対応している。ご家族との電話での会話を楽しんでいる。			
52 19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を探り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	カーテンやエアコンにて日当たりや温度調整を行っている。季節の花・野菜・観葉植物を問いいいれている。フロア内には季節を感じられるような飾り付けを心がけている。			
53	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングや和室で各人が思い思いに、安全に過ごせるように、配慮している。			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	好みに応じて家具、ぬいぐるみ、写真、自宅で使用していた物のを利用者が過ごしやすいように環境整備に配慮している。居室にて植物を育てている方もいらっしゃる。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	ホーム内は、バリアフリーで車椅子の方も安全に移動できる。自力歩行の方も手すりが要所に設置されており、トイレは自動照明で安全確保に努めている。		

V アウトカム項目

			1 ほぼ全ての利用者の
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	<input type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	<input type="radio"/>	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどない

			1 ほぼ全ての利用者が
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目 : 49)		2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目 : 30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々の状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目 : 28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目 : 9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

		<input type="radio"/>	1 ほぼ毎日のように
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目 : 9, 10, 19)		2 数日に 1 回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目 : 4)	<input type="radio"/>	1 大いに増えている
			2 少しづつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、活き活きと働けている。 (参考項目 : 11, 12)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		<input type="radio"/>	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない